

定例会・臨時会

令和2年(2020年)は、年4回の定例会(2月、6月、9月、12月)、決算等を審議するための臨時会(10月)のほか、新型コロナウイルス感染症対策関連予算案等を審議する3回の臨時会(5月2回、7月1回)を開きました。その主な審議の内容を紹介いたします。

※QRコードは、各会議の「録画中継」のページにリンクしています。



第1回定例会

会期 2月14日～3月20日



令和2年度予算案を可決

令和2年度一般会計予算案6563億7261万3千円を含む、総額1兆2288億6904万1千円の予算案などを可決しました。

「新型コロナウイルス感染症対策に関する決議案」を可決

新型コロナウイルス感染症が全国各地に拡大する状況に鑑み、市民の安心・安全を確保するため、市議会も行政と連携・協力して感染の拡大防止に全力で取り組むなどとする同決議案を可決しました。

第2回臨時会

会期 5月1日



5月補正予算案を可決

国が全国一律に実施する特別定額給付金の支給や保育園等の感染拡大防止に要する補正予算案など、「新型コロナウイルス感染症緊急対策(第1弾)」、1240億1860万5千円を可決しました。

第3回臨時会

会期 5月27日



5月補正予算案(第2回)を可決

学校の情報教育環境整備や高齢者いきいき活動ポイント事業における感染予防対策の支援等に要する補正予算案など、「新型コロナウイルス感染症緊急対策(第2弾)」、43億452万7千円を可決しました。



第4回定例会

会期 6月8日～6月25日



6月補正予算案を可決

新型コロナウイルス感染症対策関連予算を含む、一般会計補正予算案総額40億2202万円などを可決しました。

「広島市基本構想の改定」、「第6次広島市基本計画の決定等」を可決

令和元年6月に本市議会は広島市基本構想・基本計画特別委員会を設置し、10年ぶりに改定される「広島市基本構想」と「広島市基本計画」について、約1年間、調査研究や審査を重ねました。同特別委員会での可決に続き、本定例会最終日に同基本構想の改定案等を可決しました。

副議長選挙

第106代副議長に渡辺好造議員が就任しました。

第5回臨時会

会期 7月16日～7月18日



7月補正予算案を可決

家賃負担軽減を行うテナントオーナーへの支援やバス、路面電車などの交通事業者への支援等に要する補正予算案など、「新型コロナウイルス感染症緊急対策(第3弾)」、65億2477万4千円を可決しました。

第6回定例会

会期 9月11日～9月25日



9月補正予算案を可決

新型コロナウイルス感染症対策関連予算を含む、総額26億2219万6千円の補正予算案などを可決しました。

決算特別委員会を設置

令和元年度各会計歳入歳出決算などを審査するため、議長および議選監査委員を除く51名の議員で構成する決算特別委員会を設置しました。

「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書案」を可決

地方自治体が医療介護や子育て、地域の防災・減災など喫緊の財政需要への対応をはじめ、長期化する新型コロナウイルス感染症対策にも迫られ、これまでにない厳しい財源不足に陥ることが予想されることから、国に対し地方税財源の確保を求める同意見書案を可決しました。

第7回臨時会

会期 10月27日



令和元年度決算を認定

閉会中に決算特別委員会で審査を行い認定された令和元年度の各会計歳入歳出決算などについて、当臨時会において、決算特別委員長報告の後、討論、採決し、認定しました。

「核兵器禁止条約の実効性を高めるための主導的役割を果たすことを求める意見書案」を可決

「核兵器禁止条約」の批准国が50カ国に達し、令和3年1月22日に同条約が発効する見込みとなったことから、国に対し、同条約の実効性を高めるために主導的役割を果たすよう求める同意見書案を可決しました。

第8回定例会

会期 12月3日～12月15日



12月補正予算案などを審議

この定例会では、補正予算案などについて審議しました。
※詳しくはひろしま市議会だより第296号(1月下旬発行予定)でお知らせします。